

I 令和6年度 栗木台小学校 学校経営計画

かわさき教育プラン

基本理念：夢や希望を抱いて生きがいのある人生を送るための礎を築く

基本目標： 自主・自立 共生・協働

学校教育目標 豊かな心を持ち たくましく生きる 栗木台の子

- 進んで学ぶ子
- 心あたたかい子
- 高めあう子
- 元気な子

学校経営の目標

- 学び合う学校づくり（学びの育ち）
- 支え合う学校づくり（心の育ち）
- 安心安全な学校づくり（安心・安全）

- ・進んで学ぶ子
- ・心あたたかい子
- ・高めあう子
- ・元気な子

栗木台小マインド

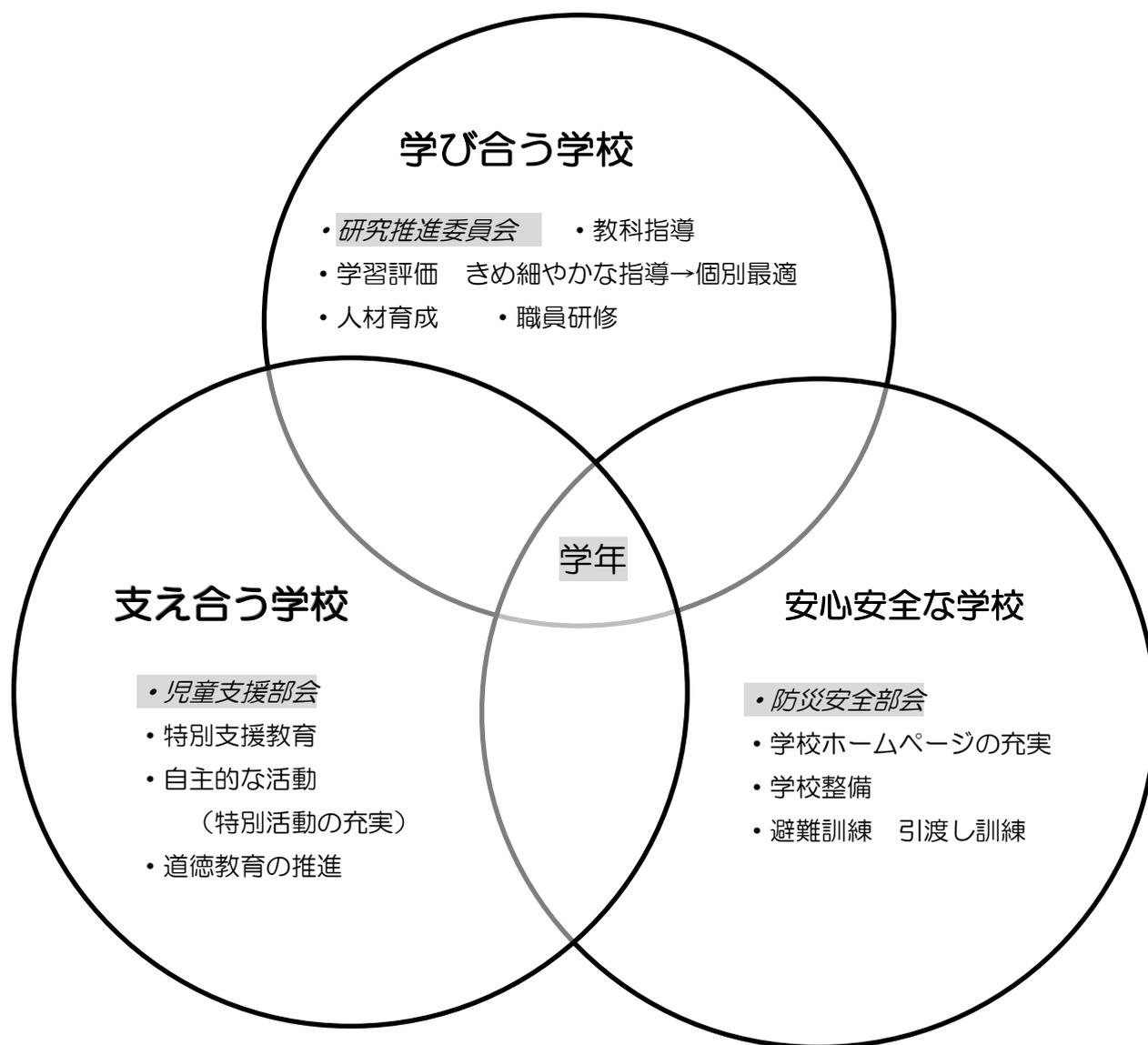
にこはきどん

今年度の重点目標・具体的な取り組み

学び合う学校	支え合う学校	安心・安全な学校
<p>温かい聴き方を活かして 自分の学びや考えを深める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○友だちとのかかわりの中での学びを深め、できるようになったことを実感する授業づくり。 <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の定着を図り、子どもたちが主体的に参加できる授業 ・基礎学力を活用し、問題を発見し、見通しをもって解決していくような授業。 ・言語活動の充実 ○多様な学習方法の工夫と効果的な指導の充実 <ul style="list-style-type: none"> ・指導形態の工夫 ・一人ひとりに応じたきめ細やかな学習指導→個別最適を目指して。 ○教職員自ら、共に学び合い高め合う。 <ul style="list-style-type: none"> ・協指指導体制の下、授業を積極的に公開しあい、授業力の向上をめざす。 ・校内研修を行い、校外で学んできたことも情報交換をし、高め合っていく。 	<p>自己肯定感・自己有用感を高める</p> <ul style="list-style-type: none"> ○一人ひとりを大切にした学校にしていく。 <ul style="list-style-type: none"> ・児童理解を深め、人権尊重教育、児童指導の充実を図る。 ・道徳教育の推進を図り、温かい心を育てる。 ・支援教育 CO を中心とし保護者、教職員が相談しやすい環境づくりに努める。様々な問題にも組織的な対応を行う。 ・褒めて伸ばす指導をこころがける。 ○子どもの可能性を信じ、主体的な活動を取り入れる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教育課程の中で子どもたちが計画したことが実現できるよう支援を行う。 ・異学年の交流を大切にしながら、ふれあい活動を推進する。 ○挨拶いっぱいの学校にする <ul style="list-style-type: none"> ・朝や帰りのあいさつ、校舎内でのあいさつを徹底する。 ・自然に出るありがとうの言葉。 	<p>自己判断力の育成 開かれた学校づくりとしてホームページの充実と適切な情報配信</p> <ul style="list-style-type: none"> ○子ども、教職員、保護者、地域が互いに信頼し合い、支え合い、開かれた学校をめざす。 <ul style="list-style-type: none"> ・学校の様子を、学校だよりやホームページを通してこまめに伝える。 ・地域の協力者との連携や地域を効果的に学習で活用する。 ○交通安全指導、防災・防犯対策の確立を図る。 <ul style="list-style-type: none"> ・定期的な学校防災・防犯対策の訓練と現実を考えたよりよい工夫の推進 ・安全な歩行、校庭の遊び方指導→危険を察知する能力を高める ・地域や保護者と情報の共有化を図り、安全・安心な学校づくりに取り組む。 ○施設・設備の安全点検、校舎内外の環境点検の実施。 <ul style="list-style-type: none"> ・施設・設備の安全点検等を通し環境整備に取り組む。

学校経営計画構想

- 学び合う学校（学びの育ち）・支え合う学校（心の育ち）・安心安全な学校（安心安全）の三つの三部会を中心に、学校運営を行っていきます。



学校教育目標と令和6年度の重点目標

学校教育目標：豊かな心を持ち たくましく生きる 栗木台の子

令和6年度重点目標：○温かい聴き方を活かして自分の学びや考えを深める ○自己肯定感・有用感を高める ○自己判断力の育成・開かれた学校づくりとしてホームページの充実と適切な情報配信

豊かな人間性

- ・正しいと判断した事をしっかりと行う
- ・誰に対してもやさしい気持ちで接する。
- ・差別することなく、公正・公平に接する
- ・生きる事のすばらしさを理解し、生命を大切にす

健康・体力

- ・あいさつ運動の推進
- ・基本的な生活習慣を身につける

資質・能力の育成

何ができるようになるか ○学校教育の基本

- ・主体的に考え、友達の見聞を聴きながら深める
- ・学んだことを活かす
- ・その場に応じた状況を考え、問題を解決する
- ・表現力の育成



何が身に付いたか ○学習評価を通じた学習指導の改善

- ・友達の考えを理解したり、違いの部分を見つけたりしながら、問題解決をする方法を見つけたり
- ・学習した事、体験してきた事を活かし主体的に行動している。

子どもの実態

- ・明るく、素直。
- ・教師から言われたことは行うが、自ら行動する事は少ない。
- ・挨拶も笑顔で行う。

子どもの発達をどのように支援するか ○配慮を必要とする子どもへの指導

- ・一人ひとりの児童に向き合い、子どもの理解に努める。
- ・きめ細やかな指導の充実。
- ・教師間で情報を共有しあい、協働して支援にあたる。
- ・児童 CO を中心とした、支援体制の充実

めざす子どもの姿

- ・自分に自信をもち、自分を好きになる子
- ・友達の良さを認め、誰に対しても優しくできる子
- ・自分で考え、自分で判断し、問題解決ができる子

何を学ぶか ○教育課程の編成

- ・言語活動の育成（聞く・話す・書く）
- ・キャリア在り方生き方教育（基礎的・汎用能力）を意識した活動を意識する
- ・各教科で身に着けた力を表現活動に生かす
- ・基礎学力の定着を図る
- ・地域素材を意識した教育活動

どのように学ぶか ○教育課程の実施

- ・温かい聴き方・やさしく学び合える学習環境を整える
- ・主体的で対話的な深い学びを意識した学習（単元学習の中で、子どもが考える場面と教員が教える場面でのつながり）
- ・キャリア在り方生き方教育を意識し、かかわる力・自分を見つめる力・課題をさぐる力・実践しようと思ふ力をつけていく。
- ・ノート指導から自分の考えを記録を残し、次へつな

実施するために何が必要か

○指導体制の充実、家庭・地域との連携・協働

- ・校内研修の充実
- ・地域や保護者との連携
- ・地域素材を生かした授業づくりの推進
- ・児童支援教育のための外部機関との連携

安心・安全を守る

- ・自己判断力の育成
- ・人権尊重教育の推進
- ・いじめをおこさないような取り組み
- ・避難訓練、不審者対応訓練、引き渡し訓練等の様々な訓練を計画的に実施

開かれた学校作り

- ・学校ホームページの充実
- ・学校だより、学年だより、メール配信等での情報発信
- ・学校運営の改善を図る「学校評価」の活用
- ・学校公開、コミュニティスクールなどの情報発信

Ⅱ 各学年の1年間の目標や指導の重点

栗木台小学校 学校教育目標

「豊かな心を持ち たくましく生きる 栗木台の子」

○進んで学ぶ子 ○心あたたかい子 ○高めあう子 ○元気な子

学校経営目標

【学び合う学校(学びの育ち)】

自分で考え、自分で判断し、問題解決ができる子

【支え合う学校(心の育ち)】

自分に自信をもち、自分を好きになる子
友達のよさを認め、誰に対しても優しくできる子

学校全体での取り組み

【学び合う学校(学びの育ち)】

- 友だちとのかかわりの中での学びを深め「やればできる」を実感できる授業づくり。
- 多様な学習方法の工夫と効果的な指導の充実
- 教職員自ら、共に学び合い高め合う。

【支え合う学校(心の育ち)】

- 一人ひとりを大切にしたい学校にしていく。
- 子どもの可能性を信じ、主体的な活動をとりたい。
- 挨拶いっぱい学校にしていく

■ 1年

学年目標

- 自分で考えやってみる子
- 最後までがんばる子
- なかよくする子
- 元気にあそぶ子

指導の重点

- ・学校に慣れることを第一に考えます。そして、学習や生活の基礎・基本を身につけられるようにしていきます。自分から進んで考え、行動していけるような姿を目指します。
- ・学習では、基本となる話し方・聞き方を大切に、学習のルールを身につけていきます。そして、体験や反復を大切にしながら、最後までやり通す力をつけていきたいと考えています。小さな一歩を励ましながら、繰り返し学ぶこと、繰り返しやってみることを大切にして、取り組んでいきます。
- ・さまざまな場面で、友達の気持ちを考える活動や、一人ひとりのよさを互いに認め合う活動に取り組み、みんなとなかよく元気にあそべる子の育成に努めます。

■ 2年

学年目標

- 自分で考え、進んで学習に取り組む子
- 自分のよさや友だちのよさを認め合える子
- 最後まであきらめずに取り組む子
- 友だちと仲良く運動したり遊んだりする子

指導の重点

- ・何事にも意欲的にチャレンジし、自分で考え、進んで行動できるようになる姿を目指します。
- ・学習では、自分なりの考えをもち、伝え合うことで友達のよさを見つけ、理解を深めたり、お互いを認め合ったりできるように支援していきます。また、繰り返し粘り強く学習に取り組むことで、達成感を味わえるようにしていきます。
- ・学校生活でのルールを確認し、友達と仲良くかかわりながら、安心して楽しく過ごせるようにしていきます。

■ 3年

学年目標

- 自分で考え ねばり強くやりぬく子
- 人の気持ちを受け止める子
- 互いのよさを認め合い 進んで活動する子
- みんなで仲よく運動したり、遊んだりする子

指導の重点

- ・3年生は理科や社会、総合的な学習のスタートの学年です。問題解決的な学習をはじめとする様々な場面において、自分で考えることを大切に、友達と意見を交流したり話し合ったりして、最後までやり遂げられるよう支援していきます。
- ・「相手意識をもつ」ということが育つ学年です。相手の話に耳を傾け、相手を理解しようとする姿勢を育みます。学習の中でも、お互いのよさを認め合う活動を積極的に取り入れていきます。
- ・自分だけでなく、みんなが楽しくなるにはどうしたらよいのかを考え、友達と仲良く安心して過ごせるように支援していきます。

■ 4年

学年目標

- 自分で考え 責任をもって 行動できる子
- 自分の気持ちも 人の気持ちも 大切にできる子
- 互いのよさを認め合い 高め合える子
- みんなで仲よく 運動したり 遊んだりできる子

指導の重点

- ・4年生は「自立心」が芽生える時期です。学習や係活動、当番活動、実行委員活動など、他者に依存するばかりではなく、自ら目標を立て、それに沿って行動できるよう指導していきたいと思います。そのために一人一人が自己有用感をもてるような環境を整え、「自律」した行動が増えるよう、支援していきます。
- ・クラブ活動がスタートするなど、交友関係が広がりを見せます。様々な友達とのかかわりの中で自分や友達のよさを再発見するよい機会です。友達に囲まれ、安心して過ごせる環境の中で、やる気と向上心をもって活動したり、自由に、素直に自己表現したりしながら、互いに高め合える仲間作りをしていきます。
- ・自らの力で解決方法を見つけ、自分に合った方法で課題を解決していくことや資料を読み取る力を身につけることなどは、4年生の大切な学びの一つといえます。問題解決の力を、より確かなものにしていきます。

■ 5年

学年目標

- 自ら考え追究する子
- 優しく励ます子
- 最後まで粘り強く取り組む子
- 心身ともにたくましい子

指導の重点

- ・問題を自分で見出し、基礎的な学習を生かして解決していくことを目指します。そのために、学習や生活面において、主体的に行動できるように支援していきます。
- ・誰に対しても優しく接し、相手を励ます言葉をかけることを目指します。そのために、友達に対して、否定的でなく肯定的なかかわりをできるように支援していきます。
- ・最後までやり遂げ、自分の力を向上させていくことを目指します。そのために、学習や生活面において、最後まで粘り強く取り組めるように支援していきます。
- ・心も体もたくましく育っていくことを目指します。そのために、すぐにあきらめず、乗り越えようとしたり、相談したりしていけるように支援していきます。

■ 6年

学年目標

- 自ら考え追究する子
- 励まし、支え合って向上する子
- 自らめあてをもち、責任をもって行動する子
- 心身ともにたくましい子

指導の重点

- ・自ら課題を設定し、課題解決に向けて主体的に取り組める力をつけていきます。自分の考えを多種多様な方法で表現していけるように、様々な場面を活用していきます。めあて、見通し、振り返り、今後の展開を意識した学習を目指します。
- ・お互いに励まし合い、協力したり役割分担したりして支え合うことで活動をやり遂げることができます。一人ひとりの力を生かしながら、互いに励まし、支え合い、高め合う関係を目指します。
- ・自分が伸ばしたいところや克服していきたいところを意識してめあてを決め、あきらめず最後まで粘り強く取り組む姿勢を身に付けていきます。
- ・成功も失敗も前向きの変化されるように、自分を客観的に振り返る機会を積極的に取り入れ、一歩ずつ確実に未来に向かって歩んでいきます。

■ なかよし級

学級目標

- ①自分で学習に取り組もうとする子
- ②友達や自分のよさを見つけられる子
- ③力を合わせて活動する子
- ④進んで体を動かす子

指導の重点

- ・一人一人の適性に応じて、将来自立した生活が送れるように自分でできることを増やしていく中で、進んで活動や学習に取り組もうとする力をつけていく。
- ・大人だけでなく、話したり遊んだりできる相手を見つけ、1対1の関わりだけでなく集団の中でも関わられるようにしていく。また、関わりの中で自分の良さや友達の良さに気付けるようにする。
- ・小集団の中で人とのかわりをもち、協力することの良さを感じながら個々の学びを生かせるようにする。また、大きな集団の中で行動できるためのスキルを身に付ける。
- ・遊びや様々な体験活動を大切に、子どもが自分で何かをしたいという自発性をもったり、進んで体を動かしたりすることができるようにしていく。